

情報通信審議会 電気通信事業政策部会 接続政策委員会

(IP網への移行の段階を踏まえた接続制度の在り方について/
IP網へ移行後の音声接続料の在り方)

関係事業者ヒアリング 質問事項 (3回目)

2020年6月30日

KDDI株式会社

Tomorrow, Together おもしろいほうの未来へ。



【提供サービスと接続料】

- ① - 1 ユーザ料金設定やサービス維持の観点から接続料支出はどうあることが望ましいか伺いたい。（固定・携帯別）

【回答】

- 固定・携帯ともに、サービス維持のためにはトータルでのコスト回収が必要です。
- ユーザ料金については、ネットワークに係るコストや営業コスト、他事業者との競争環境などを総合的に勘案したうえで設定されるものであり、接続料支出と直接的に連動するわけではありません。
- 一方で、NTT東西殿のLRICによる接続料は近年上昇を続けており※、ひかり電話と加重平均しても将来的に上昇傾向であろうと想定されます。
- IP網移行後は、固定発固定着の通話料は8.5円/3分が中心になると想定されます。このままでは「ユーザ料金<接続料支出」という状態となり、固定系事業者は自身の全体収入の中で吸収するかユーザ料金の値上げを検討せざるを得ない可能性があります。従って、NTT東西殿の接続料については何らかの対策が必要ではないかと考えます。

※：IC接続 8.71円/3分（2020年度）← 8.06円/3分（2019年度）

質問事項に対する回答

【提供サービスと接続料】

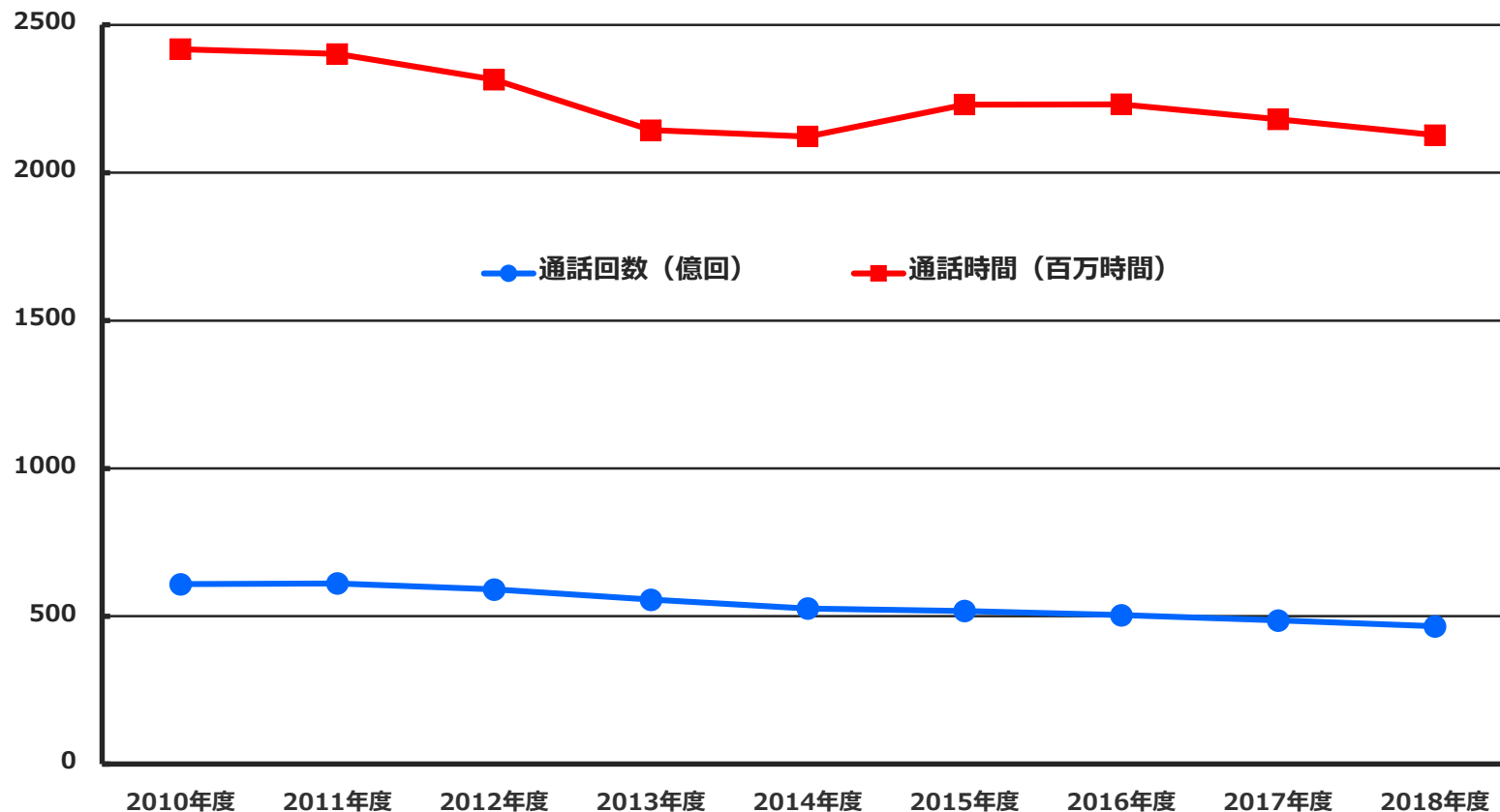
- ①－２ 定額制プランの柔軟化等のサービス内容改善によって、需要は増加あるいは減少抑制し得るか伺いたい。

【回答】

- 携帯電話において現在普及している通話定額制プログラムを導入した際、一時的に通話トラフィックが増加しましたが、その後は減少に転じています。（次ページ参照）
- 近年では、LINEやSkype、facebookなどの無料通話アプリやメッセージの普及により、双方向コミュニケーションの手段は従来の電話サービスに限らず多様化しています。
- 需要の増減はこれら市場環境や利用者の動向に係るものであり、定額制プランの柔軟化等による音声通話需要の増加や減少抑制の見込みは少ないと考えます。

参考：携帯・PHS発信のトラヒック

携帯・PHS発信の推移



定額制プランの開始
ドコモ : 14年6月
ソフトバンク : 14年7月
KDDI : 14年8月

総務省：「通信量からみた我が国の音声通信利用状況」より

質問事項に対する回答

【事業者間協議と接続料】

- ②-1 特に固定電話・携帯電話間において、トラヒックバランスと接続料収支のバランスが異なることについてどう考えるか伺いたい。

【回答】

- 接続料は自社のネットワークコスト回収のために各社が設定するものであり、トラヒックや接続料単価が各社異なることを前提に、事業者間協議によって合意形成を図ってきたと認識しています。
- この中で各事業者にとって重要な点は、必要なコストを回収できていることではないかと考えます。
- 接続料収支の状況は個々の事業者の組合せごとに様々と想定しますが、現在はトラヒックと収支のバランスに関して大きな問題は発生していないと理解しています。
- なお、第42回でNTT東西殿（資料42-6）からご指摘があったトラヒック・ポンピングのように収支が極端にアンバランスなケースがあれば、個別の問題として対処を検討すべきではないかと考えます。

質問事項に対する回答

【事業者間協議と接続料】

- ②-2 接続料格差については事業者間協議で解消可能か。
また、その交渉コストについてどのように考えるか伺いたい。

【回答】

- 接続料は、これまでも各社ごとに異なるという前提のもと、事業者間協議を通じて合意形成されてきたと認識しています。
- また、これまでの協議において、各社ごとの接続料単価の違いは許容されてきたと考えます。即ち、各社ごとに事業規模やトラフィック傾向によりコストに差が生じる認識であり、それぞれが現状を前提に事業運営を行っていることに鑑みれば、接続料格差の解消が前提の議論は適切ではないと考えます。
- 交渉コストについては、接続料や事業者間協議に対する考え方によってそのコストの捉え方は各社ごとに異なると考えます。
- 一般論としては接続料協議に関する稼働やコストは小さい方が望ましいですが、それが接続料制度の議論に影響するほどの重要性があるかは疑問と考えます。

質問事項に対する回答

【事業者間協議と接続料】

- ②－3 事業者間協議が調わなかった、あるいは調べていない事例があるか。
あればその概要について伺いたい。※委員限り

委員限り

質問事項に対する回答

【設備効率化と接続料】

- ③－1 事業者間競争あるいはサービス維持のため、現在、どのような設備効率化を図っているか伺いたい。

【回答】

- 弊社としては、設備構築、運用、保守など多様な観点で日々コスト削減を行い効率化に努めています。
- 例えば伝送路の大容量化、回線交換からIP網への移行、5G等の最新技術への対応などによっても効率化が図れるものと考えます。
- 但し、設備効率化一辺倒では安全信頼性に影響するなどマイナス面もあり得ることから、全体のバランスも重要と考えます。

質問事項に対する回答

【設備効率化と接続料】

- ③－２ 自網の効率化によって接続料収入が減る恐れがあること、他方で自網の効率化によらず接続料支出が発生することについてどのように考えるか伺いたい。

【回答】

- 競争に対応し、事業の持続的成長を図っていくためには自網の効率化によるコスト削減は当然実施していくものです。
- 自網のコスト削減により結果として接続料単価が下がり、接続料収入が減る可能性はあるとしても、それが効率化のインセンティブを阻害することはありません。
- 接続料には収入と支出の両面があり、各社は接続料によって必要なコスト回収を図っているものと理解しています。各社はそれぞれ自網の効率化に努めているはずですので、それが結果として接続料の低減につながったとしても、そのこと自体は問題ないと考えます。
- また、各社が自網の効率化努力を続けている前提であれば、協議により合意した接続料を互いに支払うことについて、大きな問題は生じないものと理解しています。

質問事項に対する回答

【設備効率化と接続料】

- ③－3 音声系へのコスト配賦に関して、トラヒックに連動しない主な設備コスト及びその配賦基準例をお示しいただきたい。また、接続のために追加的に必要となる主な設備コストをお示しいただきたい。（固定・携帯別）

【回答】

- 配賦基準については、携帯については二種指定設備制度に基づき適切にコスト配賦を行っております。
- 接続のために追加的に必要となる設備ですが、“追加”の意味により対象が変わると考えます。この点はPure LRICの内容に関係すると思われまますので、Pure LRICを具体的に検討すべきとなった場合に議論するのが良いと考えます。

Tomorrow, Together
KDDI

おもしろいほうの未来へ。

au